



グリップヒーター SP 取り付けについて E08Z51ED1S1

適合車種：GIXXER150、GIXXER250

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



*パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

«GIXXER150の場合»

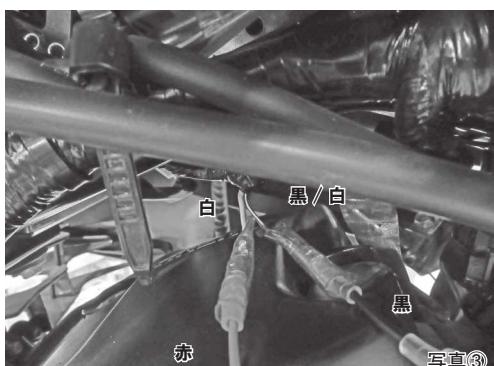
●接続する前に

車両のサービスマニュアルを参考にしてRH側のフレームカバーを取り外します。
フレームカバーを取り外したら、写真①を参考にして、タンク下の車体側のハーネスに配線テープで固定されているギボシ（白線、黒／白線）の位置を確認しておきます。（写真②）

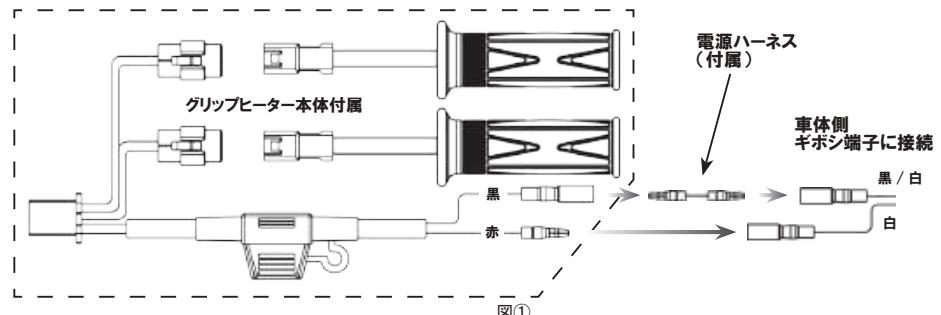


①配線の接続について（図①）

付属している電源用ハーネスを黒／白線のギボシに接続します。（写真③）
もう一方の白線のギボシ端子には、グリップヒーター本体の赤線側のギボシを接続します。（写真③）
左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、
グリップとスイッチはいったん外します。



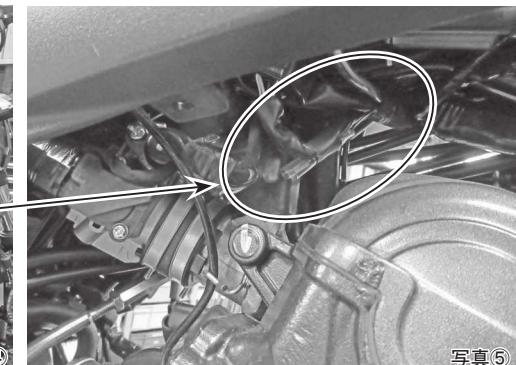
*配線を間違って、逆に接続した場合、車両をキーONにしただけで、制御スイッチの電源が入っていないのにグリップが暖り始めますのでご注意ください。



«GIXXER250の場合»

●接続する前に

車両のサービスマニュアルを参考にしてRH側のフレームカバーを取り外します。
フレームカバーを取り外したら、写真④を参考にして、タンク下の車体側のハーネスに配線テープで固定されているギボシ（白線、黒／白線）の位置を確認しておきます。（写真⑤）



①配線の接続について（図①）

付属している電源用ハーネスを黒／白線のギボシに接続します。（写真⑥）
もう一方の白線のギボシ端子には、グリップヒーター本体の赤線側のギボシを接続します。（写真⑥）
左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、
グリップとスイッチはいったん外します。

*このとき配線テープを剥がして、固定されていたギボシを車体前側に向けていた方が、後で配線の取り回しが楽になります。



*配線を間違って、逆に接続した場合、車両をキーONにしただけで、制御スイッチの電源が入っていないのにグリップが暖り始めますのでご注意ください。

※以下、共通)

②スイッチ部の取り付け

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで固定します。

→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。

③左右グリップの取り付け(参考例)

グリップヒーター本体の説明書を参考に、必要に応じてスペーサーを先に入れてからグリップを取り付けしてください。(スペーサーが必要ない場合もあります)

下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。

また、右グリップは付属のスロットルパイプに交換して、グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、ボンド(別売り)を使用して確実に接着してください。

また、写真⑦のストッパー部に当たるように押し込んでください。

※このとき、スロットル操作に問題無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に戻ることを確認してください。

▲ 注意
左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。



写真⑦

●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。(特に右側)。内部が変形てしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

④配線のまとめ(写真⑧、⑨、⑩、⑪)

それぞれの取り付けが終わったら、車両のハーネスやスロットルケーブルなどに沿わせながら、左右グリップ、スイッチの配線を通してグリップヒーターハーネスのカプラーに接続します。配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかるしていないか、ハンドル操作の邪魔にならないか確認します。



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪

⑤取り付け完了

取り外したカウルなどを元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。

問題なくグリップが温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

●構成部品●

- 専用スロットルパイプ・・・1個
- 電源ハーネス・・・1本
- 書類

・グリップヒーター(スイッチ)の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上のイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com